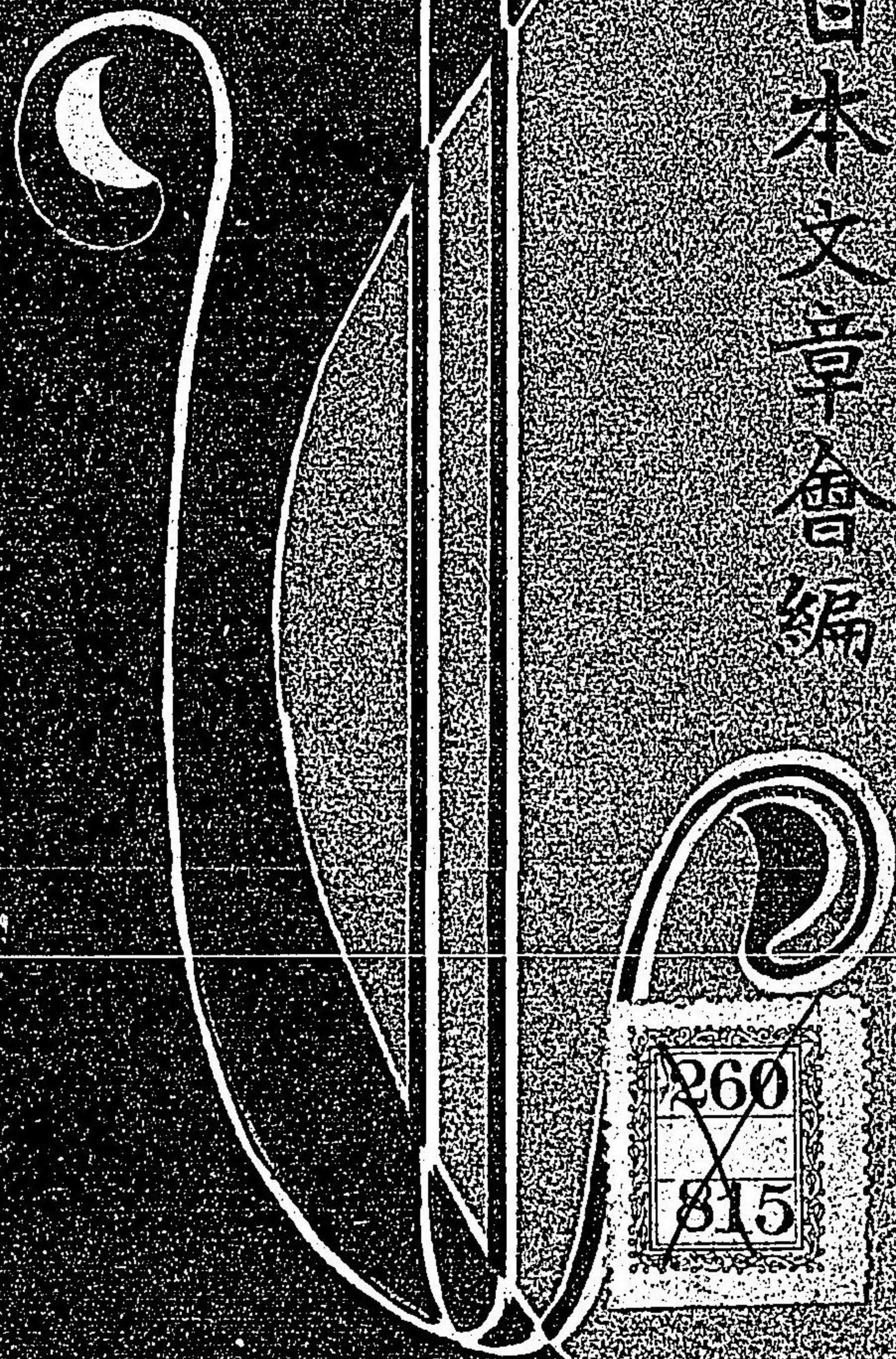
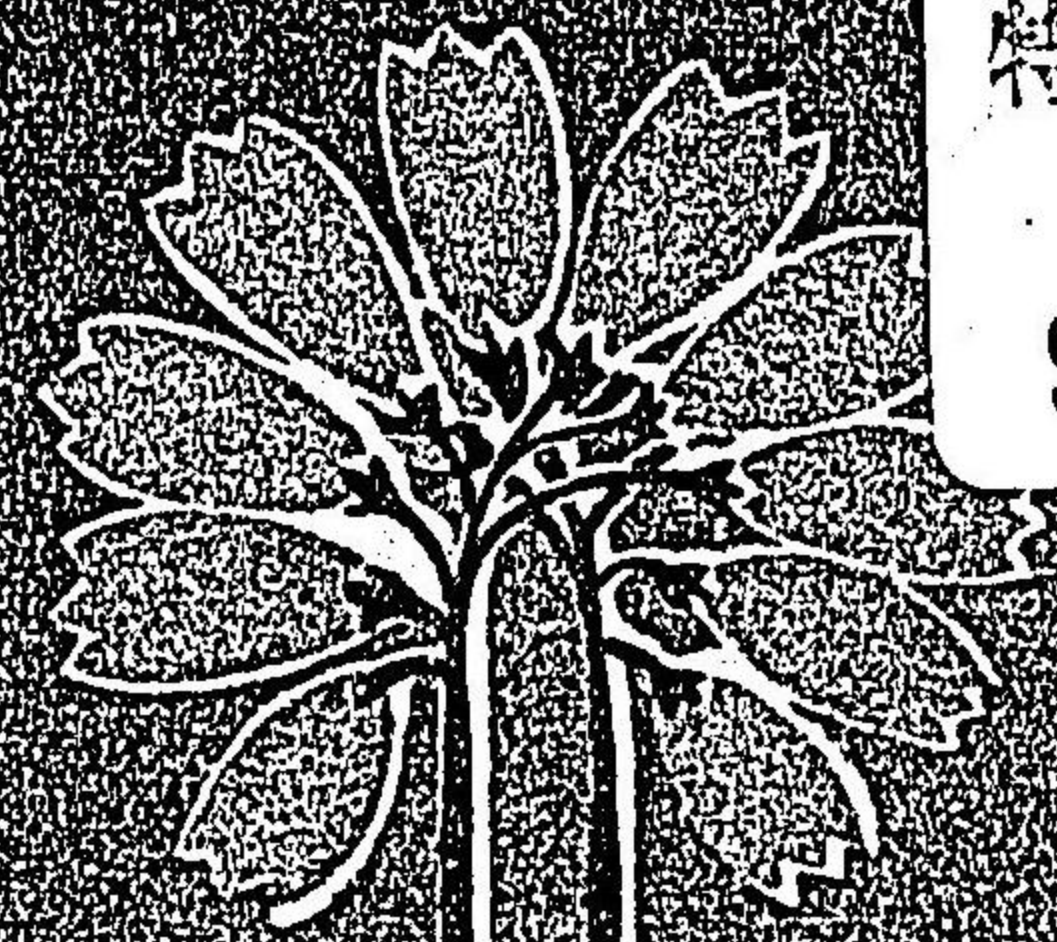


二十世紀

新用文



特 71

910

日本文章會編

260
815

301453-001-2

特71-910

二十世紀新用文

日本文章會／撰，山崎暁三郎／編

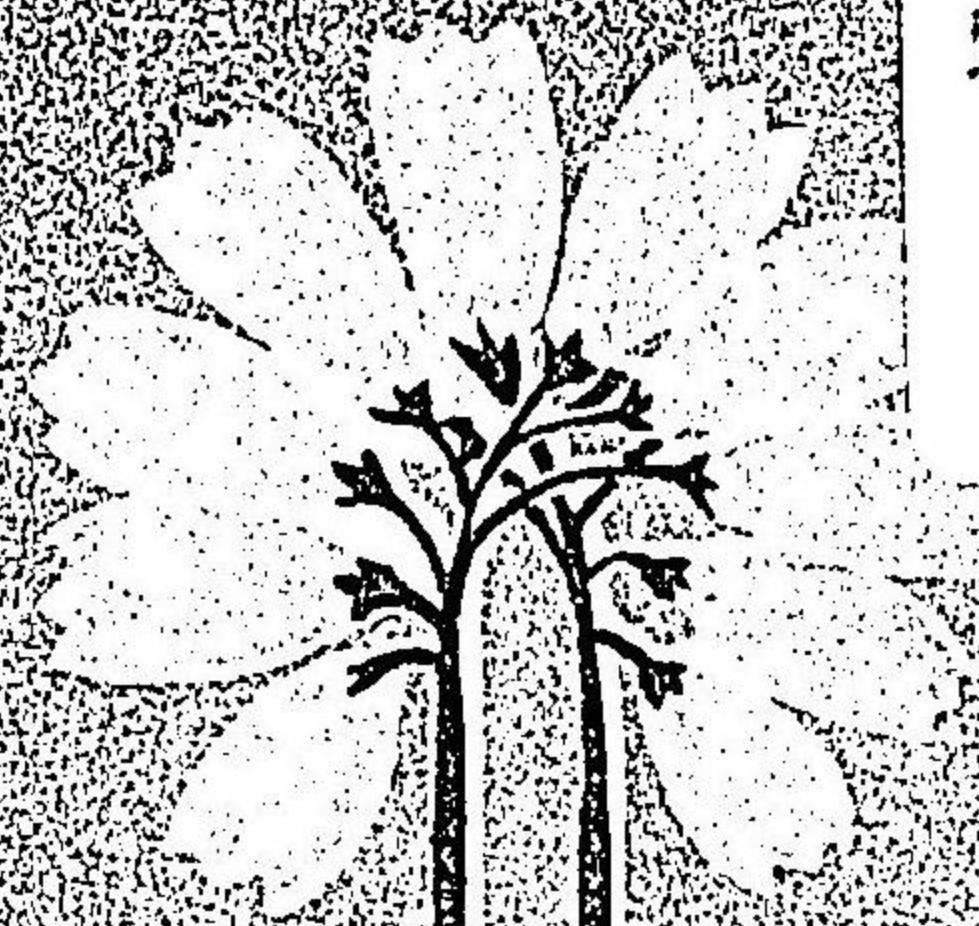
M43.3

DAC-0001



二十世紀

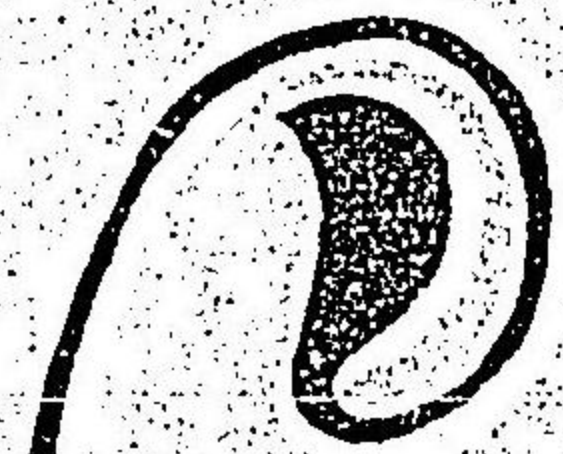
新用文



71

910

日本文章會編



260

815

特71
910

二十世紀新用文目次

○ 德川家康の手紙……………一	○ 書籍を注文する文……………二〇	○ 暑中見舞の文……………三三
○ 新年の文……………一	○ 出産祝ひの文……………二	○ 同 返事……………三
○ 寒中見舞の文……………一	○ 端午に人を招く文……………二	○ 残暑見舞の文……………三
○ 同 返事……………三	○ 病氣見舞の文……………三	○ 盆見舞の文……………三
○ 梅花を贈る文……………四	○ 同 返事……………四	○ 悔の文……………三
○ 同 返事……………四	○ 死去を知らす文……………五	○ 金員の着否を問合す文……………三
○ 花見に人を招く文……………五	○ 卒業を賀する文……………六	○ 同 返事……………三
○ 新茶を贈る文……………六	○ 納涼に人を誘ふ文……………七	○ 着荷を問合す文……………三
○ 同 返事……………七	○ 同 返事……………六	○ 同 返事……………三
○ 書籍借用の文……………八	○ 螢狩に人を誘ふ文……………九	○ 新築落成を賀する文……………三
○ 同 返事……………九	○ 同 返事……………二	○ 同 返事……………三
	○ 先生を頼む文……………二	○ 養蠶手傳を頼む文……………三

明治 43. 3. 30
内容

○類焼見舞の文	三	○煙草屋の符號	四六	○かざりや符號	四六
○洪水見舞の文	三	○荒物屋の符號	四六	○人力車の符號	四六
○同返事	三	○うなぎやさりの符號	四六	○料理屋の符號	四六
○入替を報する文	三	○古着屋の符號	四六	○酒屋の符號	四六
○雇人の周旋を頼む文	三	○乾物屋の符號	四六	○藥種屋の符號	四六
○餓別品を贈る文	三	○紙屋の符號	四六	○葉茶屋の符號	四六
○新茶を贈る文	三	○魚屋の符號	四六	○石屋の符號	四六
○鎮守祭執行の文	三	○海草商の符號	四六	○呉服屋の符號	四六
○金子借用証	三	○蒸人の符號	四六	○白米屋の符號	四六
○委任狀	三	○小間物屋の符號	四六	○材木木挽大工建具屋符號	四九
○木綿屋の符號	三	○青物屋の符號	四六	○生糸屋の符號	四九
○植木屋の符號	三	○行商人の符號	四六		
		○瀬戸物屋の符號	四六		
		○理髮師湯屋草子屋の符號	四七		
		○宿屋の符號	四七		

二十世紀新用文目次終

特7/970

○新年の文	三	○新年の文	三
○新年の文	三	○新年の文	三

二十世紀新用文

日本文章會編

◎新年の文

新年の御慶目出度申納め候先
 以て御全家様倍す御機嫌克く
 御越年被遊奉賀候次に拙家一
 同無事加年致し候間乍憚御安
 意被下度候先は御年始の祝詞

◎寒中見舞の文

拜啓申上候時下寒氣
堪難く候所御家
益々御健戸に
敬賀し奉り候私方も
御蔭様にて幸に無事
に消光罷在り候間乍
他事御安借被下度く
候鳴一交ひ輕少なが
ら寒氣御見舞の印と
して呈上致候間御笑
納被下度く候先は右
御伺ひ迄に草々不備

◎寒中見舞の文

御尋ね迄に申上
候大寒に入りて
より代來寒さ堪
難く候所御變り
も無く候哉其後
御尋ね可致候所
少々取込み有之
候爲め心ならず
も御無沙汰致居
候段不惡願上候
私方も皆々無事
に候間御安心被

迄に謹言

◎寒中見舞の文

謹啓嚴寒の候に相成候所皆々
様御揃御起居被遊候由奉賀候
降て私方一同無事に罷在候間
他事なから御安心被下度く候
粗末には候得共鶏卵一箱聊か
御見舞の印迄に御目に掛候也

◎同返事

御尊書難有拜見仕候
仰せの如く寒氣嚴敷
候所御變りも無之趣
き奉賀候借て只今は
御丁寧に御見舞物御
贈り被下れ毎度なが
ら御芳志感謝し奉候
御蔭様にて私方皆々
無事に候間何卒御安
心被下度先は御禮旁
々右御返事迄に草々
頓首

◎同返事

下度候勿々
御返事迄に申上
候御申越の如く
寒氣日増に慕り
候所御變りも無
き候由何よりの
御事に候御尋ね
被下候拙家皆々
無事に候間御安
神相成度先は右
御返事迄に申上
候也

◎同返事

拜復寒さ凌ぎ難く候處御全家
様益々御清勝の由奉賀候私方
も一同變りなく候間御休心被
下度候只今は珍しき品御見舞
として御贈り下され難有御禮
申上候尚ほ御一統様折角御自
愛の程奉祈候頓首

◎梅花を贈る文

寸楮拜呈仕候御家内
様益々御機嫌能く目
出度奉存候陳れば私
方後園の梅花頃日の
暖氣にて例年よりも
早く咲き初め候間失
禮には候得共一枝御
目に掛け候間御笑玩
給り候得ば誠に嬉敷
事に御座候先は右迄
に斯の如くに御座候

◎梅花を贈る文

鳥渡申上候陳者
貴下も御存しの
私方早咲の梅花
四五日來の晴氣
にて咲き揃へ候
間一枝御目に掛
候先は右迄に草
々不備

◎同返事

御返事迄に申上
候陳者何より珍
らしき梅花澤山

◎梅花を贈る文

一筆啓上仕候貴家倍々御清榮
奉大賀候陳者昨今の暖氣にて
拙宅後園の梅花咲き初め候間
一枝呈上候に付幸に御笑玩被
下候は、大慶の至に御座候也
草々頓首

◎同返事

尊書拜見仕候御尊家

に御贈り被下誠

皆々愈御壯健奉賀候

に難有一同悦び

陳者只今は貴園の梅

居候時候も追々

花美事に咲き揃ひ候

宜敷候に付御暇

枝御贈與被下難有奉

も候得ば御遊び

謝候早速花瓶に挿み

に御出被下度先

日々愛玩可仕候何れ

は御禮迄に勿々

拜顔の上御禮可申候

◎花見に人を招

勿々敬白

く文

◎花見に人を招く文

謹啓墨堤の櫻花昨今
満開に有之候由明日
の天候測り難く候故

其後は御無沙汰
にて奉謝候陳者
拙家後園の櫻花
昨日の暖氣にて

◎花見に人を招く文

拜呈春暖の候に相成候處益々

御書狀忝なく奉謝候只今は態

々御使を以て美事の梅花御贈

り被下難有奉存候殊に老父は

一方ならぬ悦びにて愛玩候間

餘りの嬉さに不敢取御禮迄認

め申上候何れ拜顔萬々

◎花見に人を招く文

拜呈春暖の候に相成候處益々

今日の快晴を幸に観
櫻致度候間貴下様に
は御思召如何に候哉
奉伺候

◎新茶を贈る文

追々時候も宜敷相成
候所益々御清康にあ
らせられ候段慶賀し
奉候陳れば自園の新
茶手製のもの甚不出
來に候得共御目に掛
け候間幸に御笑味被
下候得ば誠に嬉しく

俄かに咲き揃ひ
候間例年の通り
花見の會催し度
候に付明日正午
前より御光來被
下度候勿々

◎新茶を贈る文

其後は御變りも
無く候哉御尋ね
申上候私方も幸
に無事に候間御
安心被下度候
て此頃例年の通

御清榮奉賀候陳者私方庭園の
櫻花漸く咲き揃ひ昨今見頃
候間聊か觀櫻の小宴相催し度
御閑暇に候得ば御家内様皆々
にて御光來待入候頓首

◎新茶を贈る文

拜啓暖氣日増に相かり候處御
清勝奉賀候陳者先日より新茶

御座候先は右迄に頓
首

◎同返事

仰せの通り口々に陽
氣に相成候所皆様愈
々御清福大慶此事に
候借て只今は進々御
使ひにて御園の新茶
澤山御惠與被下れ誠
に嬉敷奉存候早速老
人共へ進め候所殊の
外の悦びにて厚く御
禮申上げるやう申付

り新茶摘み始め
候て自製候間粗
末ながら御目に
掛て候尙ほ御暇
も候得ば御遊に
御出有之やう御
待申居候勿々

◎同返事

拜復誠に御無沙
汰にて御申譯無
之候然ば今日は
御親切様に御手
製の新茶御贈り

◎右返事

摘み始め候に付試に手製候間
誠に不出來にて御恥か敷候得
とも御老人様の御慰み迄に御
目に掛け候先は右迄に草々
日増に好き時候に相向へ申候
處皆々様には愈々御健福の由
目出度奉存候扱て只今は御手

候何卒皆々様へ宜しく奉願上候也頓首

◎書籍借用の文

謹啓毎々一方ならぬ御配慮を蒙り難有奉

存候隙は又々恐入候得とも今回試験の爲

め英和字典参考致度候間御差支ひ無之

候は、兩三日拜借仕度く此の段御伺ひ申

上候何れ近日參上御禮申述べ候也頓首

被下れ何よりの品とて誠に難有奉

存候先、迄に何れ御目に掛り萬々

◎書籍借用の文 拜啓毎度申兼候

得とも貴兄先日東京より御取寄

せの氷川清話御不用に相成居り

候は、一兩日借覽仕度く決して

製の御茶澤山に御贈り被下れ何よりの品とて老人始め一同深く悦び入り候間此の段不敢取

御返事旁々御禮申上候也勿々頓首

◎書籍借用の文 啓上貴兄愈々御壯健御勉強の

段奉賀候陳者甚恐縮に候得共

◎同返事 尊前拜見只今は御使

にて私所藏の文學辭典御問覽の趣き御申

越に候所先日より御存じの河野氏方へ參

り居候間先方へ照會の上明き次第即時御

届可致候に付右様不悪御思召被下度く此

段御返事申上候勿々頓首

粗末には致し不申候に付何分奉願候

◎同返事 拜復御申越の氷川清話義不用に

相成居候に付只今御使の方へ御

渡し申候間ゆる御覽被下れ候先は右御

返事迄に不一

◎書籍注文の文

尊館愈々御隆盛奉賀候陳者御店御出版の日本大地誌隣讀致度候間代金及小包郵便送料共金三圓貳拾錢振替郵便にて差出し候に付着次第早速御送品相成度御願ひ申上げ候也

◎書籍注文の文

拜啓近頃は如何に候哉日増に御繁昌の御事と奉存候さて御多忙中御氣の毒に候御共御地成光館發行作文大全一冊御送り相成度代金は別氏爲替を以て送り申上候て御受取被下度候勿々願首

◎書籍を注文する文

御覽被下度候中々海舟先生の御言葉は氣骨有之候て面白く候猶ほ御暇も候はゞ御來遊被下度候御待ち申上候也敬白
拜啓貴店愈々御繁昌奉賀候陳者御出版の佐藤天外著唐詩選獨學講義一冊入用に候間御送

◎出産祝ひの文

拜啓昨夜は御令閨様御安産遊され殊に御男子に有之候由御一同様賑々御満悦と奉賀候甚粗末には候得共産衣一重ね御祝ひの印迄に御目に掛け候間御受納被下度候何れ參邸御祝ひ申述べ候願首

◎出産祝ひの文

拜呈昨夜御内室御安産御男子にて御二方共御壯健に御肥立の由奉大賀候此の品粗末ながら御喜びの験までに呈上仕候間御納相成度候也

◎出産祝ひの文

り被下度代金參拾五錢外に郵税六錢合計四十一錢小爲替券封入候間御受取次第早速御出荷願上候也
啓上愈々御多祥奉賀候陳者今朝は御男子御出生御兩人様共御壯健の由目出度奉存候此品

◎端午に人を招く文
 謹啓打ち續く好天氣にて世の中何となく心地よく相成申候陳者明日は端午の佳節に相寄り候に付き心計りの祝ひ致度候間御迷惑様ながら御令息様御同道にて午後四時頃より御入せ給り度く御待ち申上候也頓首

◎端午人を招文
 拜啓先日御手傳被下れ難有く奉存候陳者明日は長男一郎の初端午にて聊か祝候に付御子息御同伴にて午後三時より御光來相成度く此段願上候也草々

粗末には候得共御祝の印迄に呈上仕候間御笑納被下度く餘は參郎謹言

◎端午に人を招く文
 謹啓益々御勇健奉賀候備て明日は愚子の初端午に有之候所御祝として美事なる幟一對御贈與被下難有奉存候誠に御取

◎病氣見舞の文
 一書拜呈仕り候而三日以前より御令息様學校へ御出席無之候故御用の御事と存じ居候所御風邪の由驚き入り候昨今御容体如何に候哉御如才あるましくとは存じ候へ共精々御大切に御介抱の程祈り奉り候先は御見舞迄に勿々頓首

◎病氣見舞の文
 拜呈陳者貴兄久しく御病氣にて御臥床の處未た御快方に趣き不申候由嘸かし御氣遣ひの事と察し申候而し追々時候も宜しく相成候得ば御快方も近き中と存候何卒氣永く御保養相成度く此段

ケ敷候得共心祝に粗酒一献呈上致度候間明日午後三時頃より御令息御同道にて御尊來被下度奉待上候頓首

◎病氣見舞の文
 拜啓其後は御無沙汰罷在奉謝候承り候得ば貴兄此頃御不快の由驚入候就而は昨今御容体

◎同返事

謹而御禮迄に申上候
陳れば恩息の病氣に
付き御懇篤なる御見
舞被下れ毎度ながら
の御親切難有奉存候
御禮給り候病状は先
月廿五日の發病にて
一時は非常の心配に
有之候も葺井先生の
御診察にて幸に危急
を免れ昨今にては最
早心配無之家内一同
御見ひ旁々申進
め候也草々

◎同返事

拜復其後は誠に
御無沙汰して御
申譯けありませ
んさて今の度び
私病氣に付き御
親切に御見舞被
下誠に嬉しく存
候最初は風の心
地にて差したる
事も無之と思ひ

如何に候哉時候柄にて候得ば
折角御養生の上一日も早く御
全快奉祈候先は不敢取御見舞
迄に匆匆頓首

◎同返事

拜復日頃懐しく存居候雅兄の
御尊書嬉敷拜見仕候小生病氣
の儀一時は非常の發熱に候も

安借致し候此の分な
れば今月末には學校
へ出席も致さるべく
と存じ候に付其節は
何分共に御添心御願
申上候先は御禮旁々
御返事迄に匆匆以上

◎死去を知らする文
拜啓御息源一郎殿
御事豫て御氣病の御
様子御存じも有之候
所今朝より俄かに劇
症に變じ兩名の醫師

元風邪の事として差したる事無
之最早本復同様に候間何卒御
心配なきやう奉願候先は御親
切に御尋ね被下候御禮迄に御
返事申上候也頓首

◎死去を知らする文
前略陳者豫て御懇意の隣家令
息先般來病氣の所昨夜死亡致

を招きて懇命に手當申上候得共保養叶はせられず只今電報の通り午後正一時に御死去相成小生等友人一同茫然として悲嘆の涙に暮れ候次第御國元なる皆々様の御愁傷御察し申上候就ては夫々手續き相濟せ明朝は火葬に致すべく候御出向にも相成候上は御臨終迄の委細申上べく候先は右取り急き勿々敬具

拜呈然れば貴君と嘗て箱根に避暑中懇意となりし以來屢々文通して懐往の樂み邊昇君事先般來病氣に候所藥石其効なく昨夜十時に死去候趣き申越れ候に付近所之事にも有之候得ば直ちに見舞置且つ貴君との交遊の事をも家族の人に語り候所大に欣慕致

され候間御通知申上候出棺の儀は明日午前十時に有之候へば左様御承知相成度く何れは拜面の上御相談可致候先は右迄に勿々頓首

◎卒業を賀する文

謹啓彌々御勉學の段奉賀候陳者今回の試験にて首尾能御及

◎卒業を賀する文

謹啓今回の試験には秘群の御優等を以て御卒業遊ばされ候趣き日頃の御勉強とは申しながら天晴の御成績にて御両親様にまさぞく御満足の御悦びと乍蔭羨み申上候猶ほ今後御撻みなく御勉學なされ候はゞ大學の御卒業も近き事と推察罷在候

し居られ候間御書狀にても御慰問可然候先は右御知らせ勇々取り急き草々

◎卒業を賀する文

拜啓稚兄が日常猛虎的の御勉學窃かに敬腹罷在候所果して其の効果は本日試験の成績に顯はれ申候秘群の名譽は只に貴兄の上のみならず同郷たる我等も共に

第殊に御優等の由天性の御聰明とは申しながら畢竟平素の御勉學の効と欣慕罷在り候此品輕少には候得共御祝の印として呈上候間御笑納被下度先は右御悦び迄に草々頓首

◎納涼に人を誘ふ文

大暑とは申ながら連日の炎暑

此の品御祝ひの印し
 として呈上仕候頓首
 ◎納涼に人を誘ふ文
 連日の炎暑焼くが如
 く空には一点の風な
 くして恰かも蒸さる
 るが思ひに御座候就
 ては本日夕刻より隅
 田の舟遊を試み暫し
 にても日中の苦熱を
 忘れ度く候間幸に御
 暇も有之候はと御供
 仕りし如何様に候

肩身廣き思ひに
 御座候間餘りの
 嬉さに不取敢慶
 賀迄に申上候
 ◎納涼に人を
 誘ふ文
 土用に入りてよ
 り一般の暑氣を
 加へ苦熱堪へ難
 く候間四五の同
 士を語らひ今夕
 大森海岸へ納涼
 に出掛度く候貴
 兄には御都合宜
 しく候はと連中

◎同返事

には御同様困難仕候就而今夕
 刻より利根川邊へ納涼は如何
 に候哉殊に今夕は望月に候得
 ば一舟を浮べて月を眺むるも
 一興と存候間御差支へ無之は
 御同道御願ひ申度候敬白

三伏の苦熱に困じ居候所利根

哉御都合伺ひ申上げ
 候勿々頓首

◎同返事

御尊書拜見仕り候仰
 せの如く昨今の炎暑
 殊に厳しく殆ど苦悶
 に堪へ兼ね候折から
 御納涼の御催し有之
 候とて態々御招きに
 預かり難有く奉存候
 夕刻よりは何事差置
 候ても此度参上候て
 連日の苦熱を一洗仕
 事迄に不備

に御加はり被下
 れ度く此段伺ひ
 申上候也

◎同返事

拜復連日の炎暑
 に堪へ兼ね折候
 所今夕大森海岸
 御納涼の趣き能
 々御使ひ被下誠
 に願がふ所に御
 座候就ては午後
 五時頃より御邸
 迄参上候間何卒
 同遊の諸君へも
 宜く御願ひ置さ
 相成度候勿々

◎螢狩に人を誘ふ文

川納涼の御誘へ飛立つ程の嬉
 さに御座候就而は午後五時頃
 より仕度相整ひ參堂可致く何
 分御同伴宜しく御願申上候先
 は右御返事迄に草々頓首

前略小生今夕第妹と共に大宮
 氷川公園へ納涼旁々螢狩に出

◎螢狩り誘引の文

寸輪呈上仕り候陳ば
荒川堤の螢は昨今盛
りにて候由就ては今
夕見物旁々合戦に参
り度く候間貴兄には
如何に御座候や幸に
御召有之候らはは一
層の愉快と存し申候
先は否や御都合御信
ひ迄に右申上候也草
々以上

◎同返事

御手紙難有奉願候陳
れば本夕荒川堤へ螢

◎螢狩り誘引の文

拜啓仕り候陳者
只今渡邊伊藤の
諸兄参り今夕螢
狩り出遊の決議候
間貴兄にも御思
召有之候らはは
御同遊如何に候
哉時刻は午後五
時上野に會合の
事に御座候先は
右御伺迄に餘は
拜眉の上申上候

◎同返事

今日は土曜日に
候も友人の來遊

掛度候間貴兄にも別に御差支
無之候は、御同道如何に候哉
乍失禮書面を以て伺ひ申上候
草々敬具

◎同返事

御狀有難拜見頗る壯快なる螢
狩の御催ふしに付態々御使ひ
被下候所相憎今夕は學校會議

狩の御催し御誘被下

誠に愉快の事とて愚
弟も御同遊致し度き
旨切に申居候間何卒
御世話様ながら御供
の内へ加へ給はり度
く御願申上候猶ほ後
刻拜願御頼み可申候
也勿々願首

◎先生を頼む文

謹啓秋風漸く清く勉
學の時節と相成申候
所念々御健福奉賀候
陳ば我々同士相談り
夜學會設立候に就て

も無之徒然に困

じをり候所へ螢
狩の御催ふし御
誘被下誠に嬉し
く奉存候夕刻に
は仕度相整へ上
野南洲翁銅像の
下に参をり候間
宜く御同道願上
候何れ拜願萬々

◎先生を頼む文

拜啓然れば當村
の青年にて組織
候夜學會に是非
貴兄を教授に仰
き度しと小生へ

の爲め出席する事に致置候得
ば乍残念御供致無ね候間此段
不惡御思召奉願候先は御禮旁
々御返事迄に不一

◎先生を頼む文

謹啓鳳棲益々御清穆奉賀候
陳者弊村の青年等相計り英語
研究會相開き候處是非先生の

は貴下様を仰ぎて親しく御教授賜り度き一同の希望に候間御承知被下候得ば忝なき事に御座候尚ほ時聞其他詳細の事項は拜願の上御話可致候也勿々頓首

◎暑中見舞の文

手紙を以て申上候昨今の暑さ地へ難く候處御全家御揃ひ御變りも無之候由奉賀候

上に縷々

◎暑中見舞の文 拜啓本年は非常の暑さに候所別に御變りも無之

御教授を仰ぎ度き一同の熱賀に候間唐突にて恐縮に候得共御聽届け被下れ候はゞ大慶此事に御座候尚ほ委細は拜願の節申述候敬白

◎暑中見舞の文

拜呈暑氣日に増激敷候處御全家様如何御消光あらせられ候

降て私方一同無事に罷在候に付御休心被下度く誠に失禮に候得共御酒一打暑中御見舞の印迄に呈上候間御受納被下度く猶ほ時候柄御自愛專一に御願申上げ候頓首

◎同返事

仰せの如く三伏の暑に候處御尊家皆様御變りも無之御消光相成候由何よりの事に

◎同返事

候哉御尋ね申上候小生儀は日増に壯健に有之日々体育の爲め遊泳を試み居り候貴兄にも御差支無くは御同遊如何に候哉伺上候先は御見舞迄に

◎同返事

御尊書難有拜見仰せの如く暑氣堪難く候處皆様には御變り

御座候扱て又た只今
 は暑中御見舞として
 結構なる御清澤山に
 御贈り被下れ難有奉
 存候御蔭様にて當方
 皆々無事に罷在候に
 付御休心奉願候先は
 御禮迄に勿々頓首

◎残暑見舞の文

拜復時下日足も稍々
 短く相成候に残暑猶
 ほ去りやうて却て土
 用中よりも酷しく身

貴君には日々御
 壯健にて殊に御
 遊泳の趣き御体
 育上此上なき事
 に御座候就ては
 小生も明日より
 御供致し度く候
 間御世話様なが
 ら何卒御願ひ申
 上候也勿々

◎残暑見舞の文

拜呈秋とは名の
 みにて昨今の残

無之候由何よりの御事に御座
 候殊に只今は御親切に御尋ね
 被下悦び入候御蔭様にて一同
 無事に候に付御安心被下度く
 先は御禮旁々御返事迄に草々
 ◎残暑見舞の文
 秋分に入り候得共残暑尚ほ酷
 しく候所雅兒には御健然に被

に答ひ申候御家内様
 には御變りも在らせ
 られず候哉私方も御
 蔭様にて無事に消光
 をり候間御安心被下
 度此の品極少ながら
 御見舞の印し迄に呈
 上候間御笑納被下度
 候草々頓首

◎盆見舞の文

謹啓本日ほ中元にて
 さぞかし御多忙様の
 御事と奉存候殊には

暑には苦しさ堪
 へ難く候貴家様
 には御變りも無
 候哉小生も無事
 に候に付御安心
 被下度候本日東
 京より小説到着
 貴てもの御慰み
 に呈上候尚ほ御
 すきも候はい御
 光來待上候也

◎盆見舞の文

打ち續く天氣に
 て市中も何とな
 く賑しく中元の

遊候哉奉伺候小生儀幸無事に
 候間御放念相成度候此品粗末
 なづら聊か御見舞の印として
 御目に掛候に付御笑納被下度
 願上候頓首
 ◎盆見舞の文
 啓上仕候陳者本年は御亡父様
 の初盆にて噺々思出多き御事

昨年御死去相成候御
合弟の初盆に在せら
れ候得ば御愁傷の程
御察し申上候此品粗
末ながら御佛前へ御
供ひ被下度願上候

◎悔の文

謹啓陳者御尊父様事
兼て御不快に在らせ
られ候所御養生の効
無く今朝遂に御逝去
被遊れ候由御報知に
接し誠に驚入り申候

景況如何に候哉
甚粗末に候得共
砂糖一箱盆見舞
の印しとして呈
上候間御納め被
下度候勿々

◎悔の文

拜啓承り候得ば
御合弟様脚氣衝
心にて突然御死
去相成候由さぞ
御事と奉存候今

と御察し申上候此品粗末なが
ら御佛前へ御手向被下度く何
れ參堂の上萬々

◎悔の文

謹啓其後は御疎遠に罷在候段
平に御容赦被下度候承り候へ
ば御老母様御病氣の處遂に御
逝去被遊候由驚入り候噓々御

噓々皆々様御愁傷の
御事と御察し申上候
就而は御手傳として
後刻參上可致候間何
なりとも御用命仰付
被下度此の品粗末な
がら御悔の印として
御靈前へ御備へ奉願
候先は不取敢右迄に
申上候草々頓首

◎金員の着否を問合
す文

謹啓仕り候陳者先日

更に候得共日頃
の御聰明學術等
の進歩は實に秘
群の御成績にて
吾等同級中の第
一位に居られし
が今や地下の人
と成られし事殘
念此事に候謹ん
で御悔申上候也

◎金員の着否を
問合す文

昨今
の時候柄別

一門の御愁傷と奉察候甚失禮
には候得共別封御香奠の印と
して御靈前へ御手向下され度
何れ參上改めて御悔申述べ
候草々敬白

◎金員の着否を問合す文

拜啓日増に御繁榮の段奉賀候
陳者本月十日注文品付と共に

罷出候節非借仕り候
品物代金直ちに爲替
金にて御送り致し候
得しが御受取被下候
哉誠に少々之者にて
御手敷恐入候得共往
復はがきにて照會申
上候間一寸御返事相
成度く此段御願ひ申
上候也勿々頓首

に御變りなく候
哉借て本月分の
學費少々早目に
候も書狀の席に
付き送金候得し
が受取に相成候
哉若し不着に候
はゞ早速取調へ
候間此書着次第
否や御返辭被下
度候

金貳拾圓銀行爲替を以て送り
候ひし御受取に相成候哉幸
に御受取に相成候はゞ御手敷
様なぐら品物至急に御出荷被
下度く此段御照會申上候草々

◎同返事
拜復先般御會來の節
は殊の外御粗末申上

◎同返事
候陳者本月分學
資金正に到着仕
り候所小生修學
旅行として鎌倉
へ参り不在に候
爲め受取書延引
奉謝候さて試験
も最早間近に相
成候得ば願らに
勉強の上成業の
日を樂しみ居り
候先は御返事
にて敬白

◎同返事
拜復毎々御引立を蒙り難有御
禮申上候陳者御照會相成候爲

誠に失禮奉謝候陳者
其節御引立に相成候
品物代金昨日正に領
収仕り候間御安心被
下度尙ほ本日東京よ
り新荷種々到着仕り
候に付近日中に店員
伺はせ可申其節は何
卒特別の御愛顧伏し
て御願申上候先は御
禮ながら御返事迄に
斯の如くに御座候

◎着荷を問合す文
候陳者本月分學
資金正に到着仕
り候所小生修學
旅行として鎌倉
へ参り不在に候
爲め受取書延引
奉謝候さて試験
も最早間近に相
成候得ば願らに
勉強の上成業の
日を樂しみ居り
候先は御返事
にて敬白

替券貳拾圓入の御書狀確に到
着仕候御注文品の儀直に御送
可致候所相憎品切にて延引罷
在候本日悉皆出來上り候に付
夜行列車に積合せ可申候間左
様御承知被下度先は御託旁々
右御返事申上候頓首

◎着荷を問合す文

拜啓時候も日増に宜しく候處皆様には愈々御健福に在らせられ候よし何より御目出度き事に御座候さ
て先日鐵道便を以て當地の産物少々御送り致し候得しが到着候や餘り粗末のものにてお耻かしく候も念の爲め御尋ね申上候草々敬白

◎同返事
拜復貴兄今回湘

◎同返事
拜復貴兄今回湘

啓上毎度御親切に御尋ね被下れ難有奉存候扱て又た今回は御地の名産澤山に御送り被下早速御禮状を出し可申候所旅行不在にて女のみ候爲め延引奉謝候誠に粗末の品に候得ども只今小包郵便にて石鹼一箱送り申上候間御使用被下度く御願申上候也

南地方へ御旅行の由にて態々名産の梅漬御送り被下毎度ながらの御深切難有存候荷物は一昨日確に受取申候間御安心相成べく候さて湘南海岸の風景はさぞ絶景の事と
美み申候先は御返事迄に頓首

拜啓毎度御引立被下難有御禮申上候然ば本月一日筵色にて桑苗百本通運便にて差送候所御受取に相成候哉否や御一報被下度伺上候匆匆

◎同返事
拜復御店益々御繁昌慶賀不斜候扱て御送りの筵色今日午後

に到着桑苗百本慥に受取候間御安心被下度候先は御報知旁々御返事迄に草々

◎新築落成を賀する文
拜呈愈々御多祥奉賀候陳者兼て御普新中の所今回新築御落成の由嘸々美事の御事と奉察候就而は近日參郎御祝可申候

活用いろは引

(一)以、移、依、委、夷、露、異、畏、爲、非、位、猪、胃、膽、亥、威、圍、達、(一)忌、云、言、錯、煎、去來、意味、異儀、伊勢、伊豫、伊豆、壹岐、伊奈、醫師、鳥賊、鯰、息、磯、否、異違、維持、位置、(一)三、納、急、至、卑、賤、何、然、祝、命、怒、喚、抱、苛、暇、厭、疼、痛、蜂、沙魚、鯉、蠅、(一)三、初、始、肇、甫、初穂、量、計、謀、颯、破損、破戒、破船、破産、罇、疥、切、羽織、袴、指子、梯、芭蕉、鋼、拜賀、拜舞、波濤、波浪、播磨、烟花、衛、(一)四

得共不取敢鮮魚一籠御祝ひの
印として進上候間御笑納被下
度御願ひ申上候也草々不備

◎同返事

御尊書難有拜見只今は結構なる鮮魚新築祝として御贈與に預り家内一同喜び入候誠に粗末の家にて見苦くは候得共御

繁華、繁榮、發明、開金、博學、博識、刻、曉、曉成、服部、萩原、(一)露、魯、櫓、船、紹、鷺、(一)二、樓、論、牢、(一)三、論議、論語、路頭、路用、路銀、露命、露顯、六腑、魯鈍、(一)四、樓臺、樓門、樓閣、論辯、論難、陋習、露宿、(一)五、六歌仙、(一)六、六波羅蜜六道鏡、(一)葉、齒、派、霸、破、破、場、馬、羽、(一)二、原、畑、濱、梁、臺、破風、刷毛、撥、鳩、鴉、旗、旆、旗、(一)仁、爾、二、荷、尼、煮、煎、(一)二、虹、西、樹、薤、鴛、辛、螺、蛸、似、肖、丹羽、丹生、(一)三、香、句、荷、擔、惡、白眼、暇、似合、握、鈍

閑暇も候は、是非々々御光來賜り度御待ち申上候頓首

◎養蠶手傳を頼む文

前略御容赦被下度候陳者御繁忙中甚た申無候得共例年の通り養蠶相始め候所手不足にて困じをり候間何卒一兩日御手傳被下度此段御願申上候草々

染、二條、西尾、肉味、人夫
 (一)保、浦、帆、鋪、穗、藩、圃
 (二)星、干、乾、掘、瀉、瀝
 洞、棉、略、程、鉾、戈、甲、盆、頰
 臍、僕、法螺、輔佐、鱈、(一)三、埃、
 送、善提、梵字、布袋、法師、笠、焙
 爐、拂子、褒、讀、發句、蜂起、凡夫
 帆桁、步行、保養、補助、補弼、吠
 味、補充、補闕、引火架、(一)四、豐年
 蓬萊、鳳闕、殆、朗、施、廊、酢醬、
 鬼灯、鳳凰、畫眉鳥、嗽、鳳蓋、微索、
 輔車、持
 (一)邊、遍、閉、部、(一)二、片、偏、
 變、綴、耗、幣、篋、紅、(一)三、邊、土、
 邊部、片時、平癒、弊家、弊廬、弊衣、

◎類焼見舞の文
 拜啓先日は御隣家より出火折
 悪く大風にて遂に御類焼被成
 候由誠に御氣の毒の至りに存
 候併し御家族中御怪我も無之
 は不幸中の幸と申べく若し御
 不自由の御事も有之候はゞ御
 遠慮なく御申越被下度甚失禮

缺陷、平素、(一)四、平伏、平安、平産
 平旦、平明、別段、別條、返翰、返濟
 返辨、返堅、剽輕
 (一)一、登、戸、斗、途、圖、土、吐、
 杜、堵、塗、屠、奴、怒、徒、(一)二、
 年、歲、季、稔、泥、溝渠、富、德、
 解、伽、答、途次、屠蘇、都府、都鄙
 (一)三、兎角、途方、途中、扉、鳥居、
 宿直、獨鈞、吐血、吐瀉、動氣、頓死、
 豆腐
 (一)知、乳、干、稚、笞、馳、耻、
 致、(一)些、直、散、賃、註、軸、
 地味、智恵、爺、陣、兒、茶、豈、矮
 狗、鳩、知己、地圖、地位、(一)三、地
 頭、地券、地震、地獄、中途、契、誓

に候も手桶一對御見舞の印迄
 に如斯に御座候草々頓首
 ◎洪水見舞の文
 本月に入りてより天候兎角不
 順にて降雨勝に候所今朝の新
 聞にて御地方洪水の趣き承知
 仕り驚入候貴家様には御被害
 等無之候哉新聞にては詳細不

格、翼、形、皮、河、川、風、員、數、
 角、株、陰、影、蔭、暈、垣、塙、壁、
 釜、鎌、笠、傘、瓶、甕、籠、籃、籠、籠、
 (一) 與、世、代、餘、豫、豫、豫、
 (二) 宵、夜、輿、地、泥、餘、所、餘、暇、
 豫、備、嫁、撰、斧、段、(三) 夜、泣、
 餘、日、夜、伽、夜、結、夜、業、夜、寒、
 餘、計、餘、德、餘、計、餘、念、餘、得、
 餘、裕、餘、財、豫、防、豫、尋、
 (一) 太、田、多、他、汰、陀、臥、
 (二) 瀧、飛、泉、深、布、他、事、他、
 情、他、意、臺、玉、珠、館、宅、相、
 時、擔、桶、足、袋、臥、荷、岡、谷、洞、
 標、答、布、花、車、蜻、章、魚、鱒、鯛、
 他、意、茸、竹、琴、紙、鷲、(三) 給、

月一日近衛師團へ入營の事に
 相成候間此段御案内申上候
 ◎雇人の周旋を頼む文
 謹啓益々御配慮を蒙り難有奉
 存り候陳者又々御手数様なが
 ら小僧一人雇入度候に付可然
 者にて十二三歳の者有之候は
 ば御世話被下度御願申上候

賜、試、糺、巧、敵、叩、崇、哆、欺、
 多、少、多、分、多、言、他、力、他、流、太、儀、
 大、破、大、志、大、氣、大、部、手、向、
 (一) 禮、連、(二) 靈、列、列、聯、
 零、曆、(三) 靈、地、靈、夢、禮、儀、連、
 句、連、歌、戀、慕、練、磨、列、座、廉、耻、
 廉、吏、廉、價、冷、嘲、歷、史、獵、師、隸、奴、
 (一) 禮、法、禮、式、歷、代、歷、世、歷、然、
 連、合、連、帶、連、名、連、署、隸、書、令、兄、
 烈、風、烈、寒、烈、火、冷、風、連、戰、
 (一) 會、祖、素、楚、疎、租、徂、
 蘇、粗、(二) 空、雪、車、祖、父、祖、母、
 岨、杓、其、庭、袖、底、外、園、僧、
 (三) 粗、末、粗、相、粗、品、粗、飯、即、座、
 即位、即時、即死、卒爾、卒度、照位、

◎錢別品を贈る文
 時候も追々宜敷候處愈々御健
 勝何よりの御事に候借て承り
 候得ば貴兄には今回高等學校
 御入學の爲近々御上京相成候
 由就ては大學の御卒業も近々
 の御事と存候粗末には候得共
 靴下一箱聊か御錢別の印とし

副乳、底意、祖先、粗造、粗密、素行、
 素質、疎薄、鼠輩、狙擊、
 (つ)津、都、豆、厨、(つ)常、恆、
 出、摘、織、織、突、釣、搗、摺、通、
 夜、露、月、角、塚、粒、梅、梅、雨、
 杖、鋤、爪、網、弦、頭、陀、厨子、紡、
 鍾、豆油、苞、雀、鶴、槌、楓、黃、楊、
 蔓、(つ)三、洪、浪、海、嘯、釣、瓶、葛、籠、
 机、追、加、追、補、飛、礮、葦、尾、鼓、
 襪、劍、杜、撰、
 (ね)豚、音、根、(ね)閨、總、福、
 宜、葱、熱、猫、捻、止、(ね)三、年、買、
 年、季、年、紀、直、段、妬、寐、覺、寐、冷、
 混、繁、痴、宿、鳥、俊、婦、俊、談、(ね)四、
 年、頭、年、初、年、來、年、功、年、齡、年、鑑、

呈上候間御笑納被下度京地
 御滯在中は御身の上御大切に
 一日も早く優等の御卒業乍陰
 奉祈候勿々頓首
 ◎新茶を贈文
 拜啓陳者例年之通新茶製造致
 候間聊進呈致候本年は不順之
 爲香味甚不佳候得共御笑留被

年少、熱湯、宿腐、煉塙、煉藥、熱血、
 熱心、熱望、翻悔、念慮、
 (な)奈、那、名、菜、(な)波、浪、
 濤、灘、鳴、啼、泣、泣、鍋、細、苗、
 刀、納屋、隠語、(な)三、習、歌、流、
 投、惱、撫、斜、名、殘、餘、波、消、細、
 手、納戸、板、押、癡、風、鳴、子、中、稻、
 慷慨、願、伴、奈、落、鉛、黑、錫、平、均、
 (ら)良、羅、羅、深、(ら)二、雷、埒、
 關、喇、竿、鴛、亂、勞、(ら)三、廊、下、
 欄、間、來、駕、來、儀、矧、情、浪、費、羅、紗、
 (ら)四、來、陽、來、年、落、成、落、日、勞、逸、
 裸、體、喇、叭、老、婆、駱、駝、獵、虎、勞、苦、
 勞、動、勞、功、老、老、亂、雜、亂、妨、勞、役、
 勞、煩、勞、煩、蠟、燭、蘭、麝、落、胤、

下候得ば難有奉存候尚近日別
 製之好結果を得候へば差上可
 申候不備
 ◎鎮守祭執行之文
 秋容爽然益御健康奉賀候陳者
 當村鎮守何神社此程社格昇進
 郷社に列せられ候に付例年よ
 りも奮發祭典執行可致見込に

(む)武、無、夢、霧、牟、(む)村、邑、棟、婿、胸、无碍、無智、鞭、策、元費、石鮓魚、椋、松楊、麥、(む)三、無欲、無學、無論、無盡、無法、無念、無怒、無能

(う)宇、卵、羽、鵜、馬、子、有、得、(う)雨露、雨後、海、浦、歌、憐、運、産、賣、獲、渦、菱、迂路、餓、飢、浮、討、虚言、歌、唄、魚筍、蛙、瓜、鳥頭、獨活、腕、膿、乳母、(う)雲霞、雲霧、宇宙、有徳

(の)乃、之、野、能、(の)二、法、矩、則、野邊、擔、軒、咽、海苔、蛋、社、額、(の)三、野分、暖簾、帳、狼烟、農夫、農具、長閑、(の)四、悠然

有之見立品陳列立花場相設東
京より有名之宗匠招待の計畫
に御座候依而貴村に於ても右
見立陳列品神社に縁由ある御
意匠を以て一兩種御寄贈被下
候様奉願候尤貴村御鎮守祭の
節は相當の寄附可致候條此段
御了知相成度候也

乗合、飲食、馬習、(の)五、仲舞、仲箱、野鶏頭、鋸痕、憑託、崖椒、(の)六、昇、降、宿雪、恣行、鋸齒草、(お)お、(く)久、九、句、矩、俱、愚、區、虞、(く)暮、晚、陸、國、邦、隈、雲、畔、愚夫、愚婦、愚癡、愚意、櫛、申、靴、履、鍬、釘、鞍、倉庫、藏、庫、庫裏、首、頸、(や)也、屋、矢、彌、治、哉、(や)二、山、梁、竹林、病、耶蘇、暗、灸、燒、安、(や)三、藥研、家賃、寄宿、茶里所、野牛、安直、廉價、賤價(四)や、山端、山間、山賤、約束、約諾、厄介、厄難、寄生木、家搜、暗殺、(ま)真、麻、間、魔、摩、磨、(ま)二

金子借用證 (書方)

印紙

一金何圓也

右者拙者共連帶を以て借用候
事確實に御座候就は返濟期日
の儀來る年月日迄に前記の利
息相添へ元利共一時御返濟可
致決して御迷惑御損害相掛不

增、稀、儘、舞、亦、復、卷、蔘、窓
 的、眉、孫、襪、大豆、鱈、斗、股、
 又、麻痺(まひ)末世、末期、魔道、魔
 界、磨滅、麻、
 (け)計、毛、化、卦、下(け二)夏
 至、稀有、怪我、怪異、下駄、(け三)
 權威、堅固、鞏固、稽古、輕微、輕侮、
 賢愚、兼備、血氣、嫌疑、結句、解脫、
 下向、
 (ふ)不、父、夫、婦、布、扶、符、
 浮、賦、普、秩、府、武、撫、富、處、
 (ふ)福、文、淵、渾、渾、扶持、布施、
 不圖、不時、不虞、不具、父祖、父母、
 父子、不義、不和、
 (こ)古、姑、孤、故、子、固、粉、

申候間爲念借用証書依而如件

年月日

何縣何村何番地

連帶借用人

何

某

印

同

何

某

印

何之誰殿

委任狀

印紙

一拙者儀今般金持五郎を部理代人と相定め拙者名義にて

左の權限の事を代理爲致候事

一何々之件

一何々之件

右委任狀依而如件

年月日

何

某

印

◎諸商人の符號

木綿 イセマツサカチラシ子

植木 テキバラ コウロ ヲヤ 丁半 ジン セイ ドウ キカ

吳、枯、語、(一)東風、去年、古稀、
 鼓舞、語意、語路、琴、獨樂、泥鏡、
 漆笥、莖莖、駒、骨折、牛尾、魚鯉、
 肥、我、(え)いせむ、
 (て)手、天、(て二)照、天、點、木、
 挺、寺、香、利、(て三)天子、天狗、
 手柄、手並、手討、手馴、手利、手段、
 手管、手許、手詰、手伺、手落、手練、
 朝義、朝威、丁稚、適宜、適意、調和、
 調味、調旅、
 (あ)亞、阿、鴨、蛙、壓、(あ二)雨、
 秋、畦、穴、孔、泡、網、仇、字、味、
 綾、雨、響、蛇、蟻、蝸、(あ三)
 紋多、步行、闇夜、嵐、旭、空地、蝸、
 令姉、汗瘡、安危、安堵、安座、哀、

崇、惡意、惡魔、淺瀬、綱代、惡徒、
 (さ)佐、左、沙、狹、差、些、鎖、
 (さ)咲、作、裂、里、郷、坂、崎、
 柵、蟹、差異、瑣々、旅、血、竿、鞘、
 紗綾
 (さ)幾、起、規、貴、希、氣、忌、
 奇、木、期、黃、基、起、記、季、鬼、
 (さ)綴、氣味、義理、義務、義氣、
 規模、起矩、奇異、歸依、着、伐、斬、
 切、斫、剪
 (ゆ)由、袖、湯、躰、(ゆ)雪、六、
 花、床、夢、弓、湯屋、浴室、混堂、
 湯女、(ゆ)雪意、雪解、豊、饒、往、
 來、行術、油断、所縁、(ゆ)夕暮、
 夕榮、夕立

魚商	紙商	乾物	古着	下駄	荒物	煙草
魚商 さかなや 丁イ△井メーナハ久 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	紙商 かみや イコヨキ久位ホチ利夕正 用方は正久は百五十タコ又は二十一日又は三十三タ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	乾物 かんぶつ アキナイイタカラフネ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	古着 ふるぎ フクシンノヨリヤイ(十ハフ) 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	下駄 うなぎや チリ川月丁天カツ丸 モ用ユ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	荒物 ダイヤマウロコツジカタリウキラヌケキウマル 大入△×××××久 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	煙草 タバコ イロハニホヘトチリヌ ツルカメマイアソブ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九

(め)女、目、眼、芽、(め)召、免、
 右手、雌雄、仮面、煙、(め)三、目利、
 目的、目當、目安、名譽、眩、眩暈、
 壯
 (み)見、身、己、美、味、笑、實、
 躬、(み)看、見、視、峯、溝、道、
 途、路、宮、店、袋、神酒、眉目、翠、
 簾、蜜、(み)三、都、花洛、宮居、満干、
 見聞、見知、見舞、港
 (し)之、士、志、詩、使、試、示、
 司、耳、辞、兒、(し)籍、沙、潮、
 島、四季、辞宜、慈悲、自他、自餘、
 自費、自訴、自負、自己、時機、時宜、
 事務、事故、詩歌
 (る)惠、術、柄、江、在、得、書、

海草	商人	小	青物	行商	瀬	理髮師	湯子屋
海草 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	商人 げいにん 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	小 ひまも 人平生丸カモノ方リ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	青物 あをもの づべぶりきりたりがれろんせいばん九 又魚商ニ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	行商 せと ヤリフリカチタメ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	瀬 ふんりんかんきんれうけんじやうしやくすん 分厘ノ斤兩間丈尺寸 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	理髮師 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	湯子屋 ヤリフリカチタメ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九

(五二) 枝、榮、條、珍、襟、胞衣、槍
 馬、蓋工、(五三) 銳意、榮譽、緣故、
 幼稚、要旨、要事、榮枯、榮耀、緣喜、
 蕙方、遠路、驛路
 (ひ一) 火、日、飛、比、皮、卑、槍
 極、肥、非、費、碑、美、微、眉、備
 鄙、(ひ一) 晝、午時、啼、引、挽、曳、
 牽、鄙、難、微意、微志、琵琶、彼我、
 稗補、誹譏、鼻祖、紐
 (も一) 毛、茂、裳、喪、(も二) 襪、森
 杜、門、身屋、母屋、初、紅絹、伯勞、
 桃、紋、魚、標、(も三) 最早、最中、門
 戶、門徒、求、需、申、啓、白、資本、
 基手、儲、設
 (せ一) 世、施、勢、瀨、脊、畝、(せ二)

迫渡、端門、堰、關、是非、世話、世
 事、錢、妾、核、栓、糶、騰、白灰、
 蟬、芹、(せ三) 世界、世間、世俗、先
 祖
 (す一) 須、洲、巢、簀、酢、(す二)
 澄、住、栖、吸、梳、腦、裾、鈴、錫、
 酢、勳、杉、菅、(す三) 瑞氣、瑞夢、
 隨意、隨意、簾直、納涼、素顏、素肌、
 硯、簾、砂金、幼強、衰微、炭櫃、角
 力、角瓶、相撲

上欄終

宿屋	料理屋	酒屋	藥種	砂糖	葉茶	屋	石屋
一 しょこいよこ川よこ月よこまんぼう 二 せんぼうはかよこはとむかいうらさ 三 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 をじじばやみたりこげんろんせんばんさばとて	一 子コカジレキヤクヨベ 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 三 四 五 六 七 八 九 十 ウ ロ ッ チ ヲ ヲ ヲ ヲ ケ エ バ ン キ ヲ ヲ 又ポウツ ト云	一 たりやんさんなすうろろまちはまきう 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	一 ノハ山レ○吉メ申 二 三 四 五 六 七 八 九	一 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九	一 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二 三 四 五 六 七 八 九 甘五錢五十錢一圓 女房ヲによらい 酒をのむ事を めしを喰ふ事 をかねをはく

生糸	白米	吳服	本千原夕吉大才末平川
一 コエテアサキユメシ 二 セカイミナヨロコブ	一 アキナイノメデタサ 二 三 四 五 六 七 八 九	一 本 二 三 四 五 六 七 八 九	一 本 二 三 四 五 六 七 八 九

二十世紀新用文終

260

815

(來出版再々噴評好)

明 李 龍 編 選 本 日 佐 藤 天 外 講 述

ボ ケ ツ ト

唐 詩 選 獨 學 講 義

美 製 一 冊 正 價 五 拾 錢 送 料 不 要 郵 券 代 用 一 割 增

本書は講義に於て最も簡明親切な極められた如何なる初學者も直ちに文章練習の資料となすに適せり故に一度之れを讀むれば一面には壯大なる支那文藝の面影に接し又一面には我國故事の起原を悟りて大に智能を啓發するに至るべし

發行所 東京淺草區新福井一丁目
松成圖書房

明治四十三年三月二十日印刷
明治四十三年三月廿日發行

日本文章會撰

編輯者 山崎曉三郎

印刷者 井出五三九

印刷所 日進社

東京市日本橋區若松町廿一番地

東京市神田區龜住町六番地

發行所 成光館書店

東京市淺草區新福井町一番地

發行所 國華堂書店

不許複製

二十世紀新用文典付
定價 金貳拾錢

